

令和5年度

南アルプス市教育委員会

点検及び評価報告書

【令和4年度事務事業分】

令和5年8月

南アルプス市教育委員会

## 目 次

I	点検及び評価について	
1	趣旨	3
2	点検及び評価の対象とした事務	3
3	評価の点数表	3
II	点検及び評価のまとめ	
1	教育委員会の活動に対する点検及び評価	4
2	教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価	4
III	教育委員会の活動についての点検及び評価	
1	教育委員会の活動状況	10
2	教育委員会の活動に対する点検及び評価	16
IV	教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価	
1	教育委員会事務局の事務事業について	18
2	第2次南アルプス市総合計画 体系（教育委員会関係抜粋）	18
3	第2次南アルプス市教育振興プラン 体系（抜粋）	19
4	教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について	21

## I 点検及び評価について

### 1 趣 旨

南アルプス市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告書を作成し、南アルプス市議会に提出するとともに、市民の皆さまに公表をしています。

これは、教育委員会の責任体制を明確化するため、平成19年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正において義務付けられたものです。

南アルプス市教育委員会では、自らが点検及び評価を行った結果を、今後の事務の執行に反映し、効果的な教育行政を推進していきます。

### 2 点検及び評価の対象とした事務

#### (1) 教育委員会の活動に対する点検及び評価

委員自らが教育委員会活動の内容を振り返り、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

#### (2) 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価

南アルプス市では南アルプス市総合計画の進行管理を行うための手法として、行政評価システムを取り入れ、すべての事務事業に対して「事務事業マネジメントシート」を作成し、内部評価を実施しています。

点検及び評価に関しては、この行政評価システムを活用し、南アルプス市教育委員会に属する事務事業の執行状況等について振り返り、取りまとめを行いました。また、令和4年3月に策定した「第2次南アルプス市教育振興プラン」との関連について、施策の体系にある14の施策に該当する番号を事務事業ごとに表示しました。

ただし、事業選択や予算規模に自由裁量がない「国・県の制度による義務的事業」や「義務化されている協議会等の負担金に係る事業」については、対象外としました。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| ①事務事業総数：170事業                     |
| ②点検及び評価した事務事業118事業                |
| ③点検及び評価から除いた事務事業：52事業             |
| ※義務的事業及び義務化されている協議会等の負担金に係る事業を除く。 |

### 3 評価の点数表

評価の点数は、「5」から「1」までの5段階評価で行いました。

5	目的をはるかに超え達成、他への波及効果などが見られる。
4	目的以上に達成
3	目的どおり達成
2	目的までは達成できなかった。
1	目的までまったく達成できなかった。

## II 点検及び評価のまとめ

### 1 教育委員会の活動に対する点検及び評価 (P14、2(1)～P15、2(4)の4項目の平均)

平均評点：3.5

教育委員会定例会を12回、臨時会を3回開催しました。定例会では、条例等の制定、一部改正、重要案件の審議、教育委員会所管の各種委員会等の委員の選任を行い、臨時会では学校給食費徴収規則の一部改正等を行いました。

また、定例会は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、会議に出席する関係職員を必要最小限に制限して時間の短縮を図り、効率的な会議運営を行いました。

研修会等については、オンラインによる研修に参加することで、他の地域の状況を知ることができるとともに、教育委員の資質の向上に寄与することができました。

学校訪問については、訪問人数、懇談時間を短縮する等により、効率よく小中学校22校を訪問し、各学校が抱えている課題を把握することができました。

### 2 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価

#### (1) 基本政策：4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名：26 生涯学習の推進 (P19～施策26の43事業の平均) . . . . . 平均評点：2.9

『公民館運営管理事業』では、公民館の館長、主事が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、4館で事業を計画しましたが、地区主体の公民館活動については、やむを得ず中止した地区と、事業を縮小したり、工夫を凝らした上で実施し住民の交流や文化の振興を図る地区がありました。

『生涯学習推進事業』では、コロナ禍においても、施設の感染対策ガイドラインに基づき、人数制限を行ったうえで、広報誌等で積極的な学習に関する情報を発信し、学習機会を提供しました。市民が各種講座等を通じて、学ぶ喜びを感じられる環境づくりに取り組み、生涯学習活動の促進を図りました。また、市民主体の学習活動を醸成するため、「自主企画講座」の開催に注力しました。

一方で、社会教育団体の活動については、昨年度同様、コロナ禍においても事業実施できた団体から、工夫を凝らした点や、これまでの活動を見直し、改善した点などを聴き取り、その内容を他団体に紹介することができました。

『スポーツ推進委員運営事業』、『南アルプス市スポーツ協会支援事業』では、コロナ感染症対策を講じながら事業実施することができました。

『体育施設維持管理事業』では、老朽化などに伴う各施設の修繕を積極的に行い、利用者が安全・安心に使用できる環境整備に努めました。

「各種社会教育施設、社会体育施設の運営事業」では、直営施設及び指定管理施設ともに、効率的な管理運営に努めました。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での利用内容を規定したガイドラインを徹底し、継続した運営に努めました。

『若草地区拠点施設周辺整備事業』では、若草保育所の移転新築にあわせて、減少する駐車スペースを確保するための再整備工事を完了しました。

市立図書館では、空調設備更新工事による臨時休館（中央図書館 10月1日～11月10日）がありました。資料貸出数・利用者数・事業参加者数のすべてが前年度より上回りました。

子ども向け事業では、「事前申込制おはなし会」『ブックスタート・セカンドブック・サードブック事業』、「夏休み行事」等、子どもたちが小さいときから読書に親しみ、読書習慣を身に付けられるような定期的事業のほか、短時間で新しい本との出会いを提供する「ワクワク！おたのしみ袋」等を行いました。

一般向け事業では、「おはなしクラシック&名曲コンサート」「朗読会」「シニア講座」等を行い、市民の幅広い学習活動を支援し、「朗読入門講座」の参加者から新たに4名がボランティアとして登録されました。また、本を通して関係各所と連携を図り、芦安山岳館とはコラボ企画「山に親しむ」を行いました。

ふるさと人物室では、南アルプス市にゆかりのある人物の企画展や講演会を行ったほか、伝記「東京タワーをつくった男 内藤多仲」を発行し、ふるさと教育の推進を図りました。

市立美術館では、新型コロナウイルス感染症対策として入館者へ検温及びチェックシートの記入や各展示室の人数制限を行い、感染防止対策の徹底を図り開館を続けました。

企画展では「マルク・シャガール展」、常設展では「新収蔵 萩原英雄展」や「古事記繪はなしー日本乃神様展」など魅力ある展覧会の開催に努めました。

『教育普及事業』では企画展や常設展に合わせたワークショップの開催や子どもから大人までを対象としたワークショップや美術体験講座、さらに学校からの要請に応じて職員が学校に出向きワークショップを行う「出張美術館」を実施し、博学連携を推進しました。

(2) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 27 歴史・伝統文化の振興 (P24~施策 27 の 14 事業の平均) . . . 平均評点 : 3. 0

「文化財の保護に関する事業」では、所有者・管理者への適切な助言や補助事業の実施などに努める一方、「教育普及事業」を実施し、実施回数は195回、参加延べ人数8,255人を数えました。内訳は小中学校等に出向き授業を行った回数が118回、教職員向けの研修が15回、その他一般向けの講座等が62回でした。実施数、参加延べ人数とも前年度に比べ20%以上増加しており、コロナ禍の影響から回復傾向にあります。

「埋蔵文化財に関する事業」では、遺跡の保護を図るために、適時適切な試掘確認調査等の実施に努めました。本年度の試掘調査の実施件数は26件、工事立会等件数は128件でした。また、史跡整備に関連して、国指定史跡御勅使川旧堤防のうち柵形堤防の整備工事を実施しました。整備工事は、令和5年度の竣工を予定しています。また、10月からは、新産業拠点整備にともなう発掘調査を行っております（令和5年7月末まで）。

『ふるさと文化伝承館運営事業』は、ふるさと〇〇（まるまる）博物館推進事業と連携した新たな展示や講座などを実施しました。年間の入館者は7,446人となり、前年度比136%と増加しました。

『安藤家住宅管理運営事業』、『安藤家住宅イベント開催事業』では、重要文化財としての「安藤家住宅」の価値を損なわないよう適切に管理し、本年度は、茅葺屋根等の緊急修繕を実施しました。年間の入館者数は4,214人で前年度比131%と増加しました。また、本年度は3年ぶりに秋祭り宵の部（コンサート）を行うことができました。「ミニ門松づくり」、「むかし遊びとお話会」、「紅葉ライトアップ」なども開催し、催事についても平年とおりの開催に近づきつつあります。

『ふるさと〇〇博物館推進事業』では、コロナ禍の影響はあったものの、新たな証言の収集、資料の収集などを継続して行うことができました。このような調査・収集の成果等を反映した「デジタルアーカイブ」への地域資源の登録件数も順調に増え、前年度比112%の890件を数え、年度中のアクセス件数も30万件を超えています。

(3) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 28 学校教育の充実 (P26~施策 28 の 46 事業の平均) . . . . . 平均評点 : 3. 0

「育英奨学会事業」では、奨学生の選考等について、適正な事務を執行することができました。

「就学援助事業」においては、小中学校に通う経済的に恵まれない児童・生徒への適切な支援を行いました。

「市指定研究事業」では4つの指定校研究事業に取り組みました。

1つ目の『学びの質を高める授業づくり推進事業』については、3校（白根巨摩中：2年目、落合小：2年目、白根飯野小：1年目）を指定校とし、児童生徒がお互いの考えや表現を聴き合い、学び合う授業づくりについて研究を推進しました。

2つ目の『南アルプス自然体験推進事業』では、ユネスコエコスクールに認定されている芦安小中学校を指定校とし、事業を展開しました。新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、対策をする中で、できる限りの活動を実施し、自然を愛する心や人間性を育む取り組みを行いました。

3つ目の『いじめ・不登校未然防止推進事業』では、市内全小中学校でQ-U検査を実施し、学級状態の把握を行い、支援を必要としている児童生徒への早期対応を図りました。

4つ目の「小中学校における小笠原流礼法推進事業」では、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施回数は減りましたが、師範を全小中学校に派遣し、礼法を取り入れた心の教育を推進するとともに、全小中学校で礼法に則った卒業証書授与式を行いました。

『市単講師派遣事業』では、36名の市単講師等を小中学校へ配置し、多人数学級への対応、複式学級の解消、特別支援教育の推進、基礎学力の向上及び一人ひとりの特性に応じたきめ細かな指導の充実等を図りました。

『教育支援センター運営管理事業』では、小学校1年生から4年生までの児童にも、体験入所できる機会を取り入れ、学校へ登校することが困難な児童生徒が通う適応指導教室として、家庭や学校と連絡を取りながら学校復帰を目指して、学習支援、教育相談を行いました。

『外国語指導講師配置管理事業』では、小中学校にアドバイザー1名と10名のALTを配置し、「聞く・話す」ことを中心に指導を行い、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図ることができました。また、生の英語に触れる中で、他国の文化や外国語（英語）に親しみをもたせることや国際的な理解を深めることに努めました。

『小中一貫教育研究推進事業』では、楡形・若草・白根巨摩地中学校区で小中一貫校となり、推進協議会で成果と課題について話し合いました。また、甲西・白根御勅使中学校区では、令和5年度の小中一貫校の開始に向けて協議会を開催し、それぞれの地域の特徴を生かせるような一貫校設置に向けての取り組みを進めました。

『学校運営協議会事業』では、八田地区・芦安地区で、小中一貫校として学校運営協議会を行い、地域との連携を図りながら取り組みを進めました。

「教育環境づくり」では、『スクールガードリーダー事業』や地域ボランティアを活用した『学校応援団育成事業』に取り組み、児童生徒の安全確保や教育活動全体の充実を図りました。

各学校給食では、コロナ禍による子育て支援策の一つとして、2学期から給食費の3割負担軽減を、11月からは給食費の無償化を実施しました。また、油や小麦粉など給食用の食材の値上げが続く中、4月から賄材料費を10%増額し、献立等を工夫しながら、質・量とも内容を維持することができました。いずれも新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源としました。アレルギーについては、マニュアルに基づき、児童・生徒のアレルギー食への対応を実施しました。給食費の未納については教育的配慮のもと、私債権管理条例について説明し督促をしながら給食費の徴収を行い、収納率の向上に務めました。

『学校給食費支援事業』では、市内に住所を有し、同一世帯において小中学校へ3名以上の子どもが通っている保護者134名に対し、給食費の一部助成を行いました。

(4) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 29 学校施設の整備 (P31～施策29の4事業の平均)・・・平均評点: 3.0

『小学校施設設備整備事業』では、南湖小学校プールサイド改修工事等、15小学校の既存施設・設備の維持管理や、環境改善のための改修及び更新を行いました。

『若草小学校改築事業』では、設計業務委託及び仮設校舎リースの契約を締結しました。

『中学校施設設備整備事業』では、楡形中学校暖房設備器具の更新工事等、7中学校の既存施設・設備の維持管理や、環境改善のための改修及び更新を行いました。

『若草中学校部室等改修事業』では、老朽化した部室棟・相談室・倉庫の改築及び駐輪場移設、テニスコート改修工事を実施しました。



(5) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 30 青少年の健全育成の推進 (P32、施策 30 の 11 事業の平均) ・ 平均評点 : 2. 5

「青少年対策事業」の『国内交流・交流支援事業』では、夏休み期間を利用した交流は、各姉妹都市とコロナ禍における実施の可否を十分に協議した結果、すべて中止しました。

青少年育成南アルプス市民会議で実施する事業や子ども活動、イベントの支援、また南アルプス市子どもクラブ指導者連絡協議会への支援については、地域の青少年育成推進員、学校、家庭、地域関係団体が連携する中で、コロナ禍での「新しい生活様式」の中で開催できる事業を取捨選択し、心身ともに健やかな次代を担う青少年の健全育成を図りました。

『二十歳に集う会 (仮称) 事業』では、令和4年4月、民法改正により、成人年齢が引き下げられ、式典の名称が「二十歳のつどい」となりました。二十歳対象者により組織する、実行委員会が主催者の一員として、式典の企画・運営を行い、式典名称も実行委員会で話し合い決定されました。感染症対策を踏まえた会場変更や式典の縮小、また、参加できない対象者のために、YouTube市公式チャンネルを活用し、式典をライブ配信しました。さらに、実行委員が中学校卒業アルバムの写真をスライドとして編集し、会場の大型スクリーンに映し、当時の思い出を振り返りました。式典には、624人が参加し、ライブ配信の視聴回数は654回を数えました。対象者自らが企画・運営し、様々な形で参加できる式典として工夫し、成果をあげることができました。

地域や学校で、リーダーとして活躍する子どもを育成するための『ジュニアリーダー養成事業』では、市内の中・高校生を対象に、感染症対策を施す中で、年間6回開催することができました。地域や学区を超えて参加する研修生の中に仲間意識が広がり、それぞれの意欲向上につながり、学校の生徒会役員や、新たな目標に向かって部活動や行事に参加するなど、互いを高め合うことで大きな成長に繋がりました。

### Ⅲ 教育委員会の活動についての点検及び評価

#### 1 教育委員会の活動状況

教育委員会は、教育行政の中立性・安定性を確保するため、地方公共団体の長から独立して設置されています。

平成27年4月1日施行の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により現在、教育委員会の構成は教育長と5人の委員で構成しています。

#### (1) 教育委員会の定例会・臨時会

教育委員会は、原則として、毎月会議を開催しており、合議により教育行政の基本方針や重要事項などを審議し決定しています。

また、必要に応じて、随時、臨時会も開催しています。

○開催状況・・・定例会 12回、臨時会3回

開催月日 (区分)	案件区分	件名
4月12日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」、「ヤングケアラー」のリーフレット等の策定について</li> <li>・民間施設(フリースクール等)のガイドラインの策定について</li> <li>・南アルプス市中央公民館長等の退任及び任命について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・緊急連絡網について</li> <li>・南アルプス市教育委員会年間行事(前期)及び4・5月行事予定について</li> </ul>
5月19日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市社会教育団体の認定について</li> <li>・安藤家住宅運営委員会委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市子どもの読書活動推進協議会委員の委嘱又は任命について</li> <li>・南アルプス市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・南アルプス市いじめ問題対策委員会について</li> <li>・南アルプス市教育委員会5・6月行事予定について</li> </ul>
6月10日 (臨時会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市学校給食費徴収規則の一部改正について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の出席停止に関する報告について</li> </ul>
6月24日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員の委嘱について</li> <li>・学校関係者評価委員の委嘱について</li> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・南アルプス市史跡御勅使川旧堤防(将棋頭・石積出)保存整備委員会委員の委嘱について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「徳島堰」国登録記念物への登録について</li> <li>・いじめ問題対策委員会について</li> <li>・フリースクールの申請(指導要録上出席扱いとすることができる)について</li> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・南アルプス市教育委員会6・7月行事予定について</li> </ul>

7月13日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール等のガイドラインに基づく申請に関する協議について</li> <li>・南アルプス市学校運営協議会委員の委嘱又は任命について</li> <li>・南アルプス市小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について</li> <li>・市教委訪問のアンケートまとめについて</li> <li>・フリースクールの申請（指導要録上出席扱いとすることができる）について</li> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・南アルプス市教育委員会点検及び評価報告書の作成について</li> <li>・南アルプス市教育委員会7・8月行事予定について</li> </ul>
8月4日 (定例会)	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市教育委員会点検及び評価報告書について</li> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について</li> <li>・フリースクールの申請（指導要録上出席扱いとすることができる）について</li> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・南アルプス市教育委員会8・9月行事予定について</li> </ul>
9月21日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市いじめ防止連携会議委員の委嘱又は任命について</li> <li>・フリースクール等のガイドラインに基づく申請に関する協議について</li> <li>・南アルプス市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市美術館協議会委員の委嘱について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市教育委員会点検及び評価報告報告書について</li> <li>・南アルプス市の教育振興プランの進捗状況について</li> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・令和4年度全国学力・学習状況調査 南アルプス市全体のまとめについて</li> <li>・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について</li> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・緊急連絡網について</li> <li>・指定研究「いじめ不登校未然防止推進事業」教育講演会開催について</li> <li>・指定研究「学の質を高める授業づくり」研究指定校の公開研究会について</li> <li>・芦安小中学校学校説明会について</li> <li>・南アルプス市教育委員会9・10月行事予定について</li> </ul>
10月5日 (臨時会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市学校給食費徴収規則の一部改正及び今後の給食費について</li> </ul>
10月19日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南アルプス市いじめ問題対策委員会について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・学校給食費について</li> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について</li> <li>・南アルプス市教育委員会年間行事予定（後期）及び10・11月行事予定について</li> </ul>

11月16日 (定例会)	議事	・南アルプス市白根B&G海洋センター条例等の一部改正について
	その他	・児童の出席停止について ・指定学校変更の許可状況について ・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について ・「徳島堰」国登録記念物への登録について ・南アルプス市教育委員会11・12月行事予定について
12月21日 (定例会)	議事	・南アルプス市教育委員会の所管に係る個人情報保護条例施行規則を廃止する規則について
	その他	・教育施設長寿命化基本計画第1次実施計画の進捗状況について ・児童の出席停止について ・指定学校変更の許可状況について ・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について ・芦安小中学校の学校説明会について ・南アルプス市教育委員会12・1月行事予定について
1月18日 (定例会)	議事	・南アルプス市立小中一貫校に関する規則の一部改正について
	その他	・指定学校変更の許可状況について ・児童の出席停止について ・芦安小中学校転入学許可について ・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について ・南アルプス市指定研究発表会及び教育講演会開催について ・南アルプス市教育委員会1・2月行事予定について
2月15日 (定例会)	議事	・南アルプス市奨学金条例施行規則の一部改正について ・南アルプス市史跡御勅使川旧堤防(将棋頭・石積出)保存整備委員会委員の委嘱について ・南アルプス市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	その他	・学校給食費の無償化について ・若草小学校改築事業について ・児童の出席停止について ・指定学校変更の許可状況について ・教育支援センター(アルプス教室Wing)令和5年度の運用について ・「指導要録上出席扱いとすることができる不登校児童生徒を対象とした民間施設(フリースクール)のガイドライン(案)」について ・小中学校の新型コロナウイルス感染症状況と対応について ・木造地藏菩薩立像 附厨子の県指定文化財答申について ・南アルプス市教育委員会2・3月行事予定について

3月16日 (定例会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリースクール等のガイドライン(案)の一部改正について</li> <li>・南アルプス市教育支援センター規則の一部改正について</li> <li>・南アルプス市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市中央公民館長、地区分館長及び主事の任命について</li> <li>・南アルプス市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市図書館協議会委員の委嘱について</li> <li>・南アルプス市ふるさとゆかりの偉人まんが製作活用検討委員会要綱の制定について</li> <li>・南アルプス市ふるさとゆかりの偉人まんが製作活用検討委員会委員の委嘱又は任命について</li> <li>・南アルプス市学校給食費徴収規則の一部改正について</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題対策委員会の答申について</li> <li>・児童の出席停止について</li> <li>・指定学校変更の許可状況について</li> <li>・小中学校の新型コロナウイルス感染状況と対応について</li> <li>・南アルプス市教育委員会3・4月行事予定について</li> </ul>
3月23日 (臨時会)	議事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の出席停止について</li> </ul>

## (2) 学校訪問

教育委員会では例年、5月～6月にかけて市立小中学校22校を訪問し、子どもの様子や教員の指導方法など、細かく見て回っています。視察終了後は、学校側と意見交換を行い、課題があれば改善するよう助言を行っています。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策をする中で、市内小中学校22校の学校を視察しました。

訪問日	訪問先
5月16日	若草小学校
5月17日	橿形中学校
5月18日	若草中学校
5月19日	白根百田小学校・白根御勅使中学校
5月20日	小笠原小学校
5月23日	南湖小学校・若草南小学校
5月24日	白根源小学校・橿形北小学校
5月30日	芦安小学校・芦安中学校
5月31日	豊小学校・白根東小学校
6月6日	大明小学校・落合小学校
6月8日	八田小学校・八田中学校
6月9日	甲西中学校
6月10日	橿形西小学校
6月20日	白根飯野小学校・白根巨摩中学校

(3) 研修会等への参加

教育委員会では、例年各種研修会、総会及び大会等に積極的に参加し、教育行政に関する情報収集や各市町委員との意見交換等を行い、各自の資質向上に努めていますが、令和4年度は、令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策として、書面決議やオンライン研修により参加しました。

① 中北地区教育委員会連合会

月日	件名	出席者
4月	令和4年度定期総会及び研修会	教育委員・教育長
6月	第1回教育長部会（書面決議）	教育長
8月	第1回理事会（書面決議）	教育長・教育長職務代理
2月	第2回理事会（書面決議）	教育長・教育長職務代理

② 山梨県市町村教育委員会連合会

月日	件名	出席者
7月	第1回常任理事会（書面決議）	教育長職務代理
11月	秋季研修会（動画配信）	教育委員・教育長
2月	第2回理事会	教育長職務代理
3月	定期総会及び春季研修会（書面決議）	教育委員・教育長

③ 県外研修

月日	件名	出席者
6月	関東甲信越静市町村教育委員会連合会定期総会並びに研究大会（栃木県） 書面決議・研修資料配付	教育委員・教育長
10月	中北地区教育委員会連合会 教育事情県外視察研修 中止	—
11月	南アルプス市教育委員会県外研修 中止	—

④ 総合教育会議

総合教育会議は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、平成27年6月から開催しています。政策推進課主催のもと、市長が招集し、市長、教育長、教育委員の構成により、市長と教育委員会との対等な執行機関同士の協議・調整を行っています。

○開催状況・・・年1回

開催月日	案件区分	件名
11月14日	協議事項	・教職員の多忙化について ・部活動の地域移行に向けての課題

その他各種大会・行事への出席 ※全教育委員が出席対象のみ掲げてあります。

月日	件名
4月	市内小中学校 入学式 (規模縮小)
5月19日	青少年育成南アルプス市民会議総会 書面決議
6月30日	中北地区地域教育推進連絡協議会研修会
10月19日	教育講演会
10月27日	中北地区地域教育フォーラム
11月2日	芦安小中学校説明会
11月11日	研究指定校発表会 (白根飯野小)
11月17日	研究指定校発表会 (白根巨摩中)
11月25日	研究指定校発表会 (落合小)
2月1日	学びの質教育講演会 (オンライン研修会)
3月	市内小中学校 卒業式 (規模縮小)

## 2 教育委員会の活動に対する点検及び評価

教育委員会としての自らの活動内容を「教育委員会の定例会議・臨時会」、「教育委員会と事務局の連携」、「教育委員の自己研鑽」及び「学校など教育施設への支援」の4項目に分け、それぞれに点検項目を設け、教育委員自らがその目的に照らし、評価を行った上で評点し、意見を記載しました。

また、その他の意見シートにおいては、教育委員会事務局の活動の中で、特に気がついた点を記載しました。

### (1) 教育委員会の定例会議・臨時会

点検項目	会議の開催回数	評点	3.7
実績	定例会 12回 ・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催した。(審議案件数:37件) ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から効率的な会議運営を行い、時間短縮を図った。 臨時会 3回 ・学校給食費に関すること(例規の一部改正を含む)など		
評価の視点	① 必要な会議の回数は確保されている。 ② 毎月1回定例会が実施されたが、その際の審議内容においては詳細に内容、状況を把握したうえで、慎重に対応できた。		

### (2) 教育委員と事務局との連携

点検項目	情報提供等	評点	3.7
実績	・議案や資料を事前に配布することで、会議等までに内容把握、調査研究が可能となるよう、情報提供を行った。 ・会議日程についても、事前調整を図り、可能な限り出席できるよう連絡調整を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う教育施設の臨時休館及び学校における感染状況の情報提供を行った。		
評価の視点	① 常に細かな連絡調整をしていただき、安心して参加することが出来た。 ② 事前に会議資料を送付していただいたり、必要と思われる情報については視察する機会も設けていただき適切に判断をするうえで非常に有益であった。 ③ 事前に会議資料を送っていただいたので、内容把握に加え、自身の考えをあらかじめまとめたうえで、会議に臨めることができた。		



(3) 教育委員の自己研鑽

点検項目	研修会等への参加	評点	3. 3
実績	・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、中止になった研修を除き、オンラインによる研修に参加した。		
評価の視点	① 他県、他地域への積極的な研修はコロナのため出来なかったが、新事業等、先進的な事業の研修も必要だと思う。 ② オンラインも含め、各種研修会へ参加する機会があり、知見を深めることができた。 ③ オンライン研修など専門家からの具体的アドバイスは大変勉強になった。また、定例会の日に全員参加できるよう、日程を整えていただき感謝しています。 ④ 研修会の内容に合わせた教育環境づくりではなく、現場の状況をよく把握したうえで、市独自の方向性を取り入れるといいと思う。 ⑤ 研修会に参加できなくても資料を後日いただけ、内容を把握することができた。		

(4) 学校・教育施設への支援

点検項目	学校訪問	評点	3. 3
実績	・市内の小中学校 22 校の学校訪問を行い、各教室の授業内容を視察した。		
評価の視点	① 学校側からの問題点、課題等を聞く面も必要だと思う。 ② 市内の各学校を直接訪問し、先生方と直接話をすることで実態を理解することができた。 ③ 各学校の抱える課題を、現場を訪れ知ることができた。 ④ 教職員が授業をすすめていくうえでの工夫など、様々な場面を見ることができた学校訪問でした。 ⑤ 同学年、同一授業内容を見ても授業内容、工夫面で差が生じているため進行の打合せが必要であると感じた。 ⑥ 要点整理方式で進める先生の授業は、内容がまとめられているため、とても分かりやすく理解しやすかった。 ⑦ 現場で教えている先生方との直接のヒアリングも今後必要だと思う。		

#### IV 教育委員会事務局の事務事業についての点検及び評価

##### 1 教育委員会事務局の事務事業について

南アルプス市では、南アルプス市総合計画を策定し「自然と文化が調和した幸せ創造都市・南アルプス」という将来像を掲げています。教育委員会部門においては、この将来像の実現のため、基本政策が設けてあります。

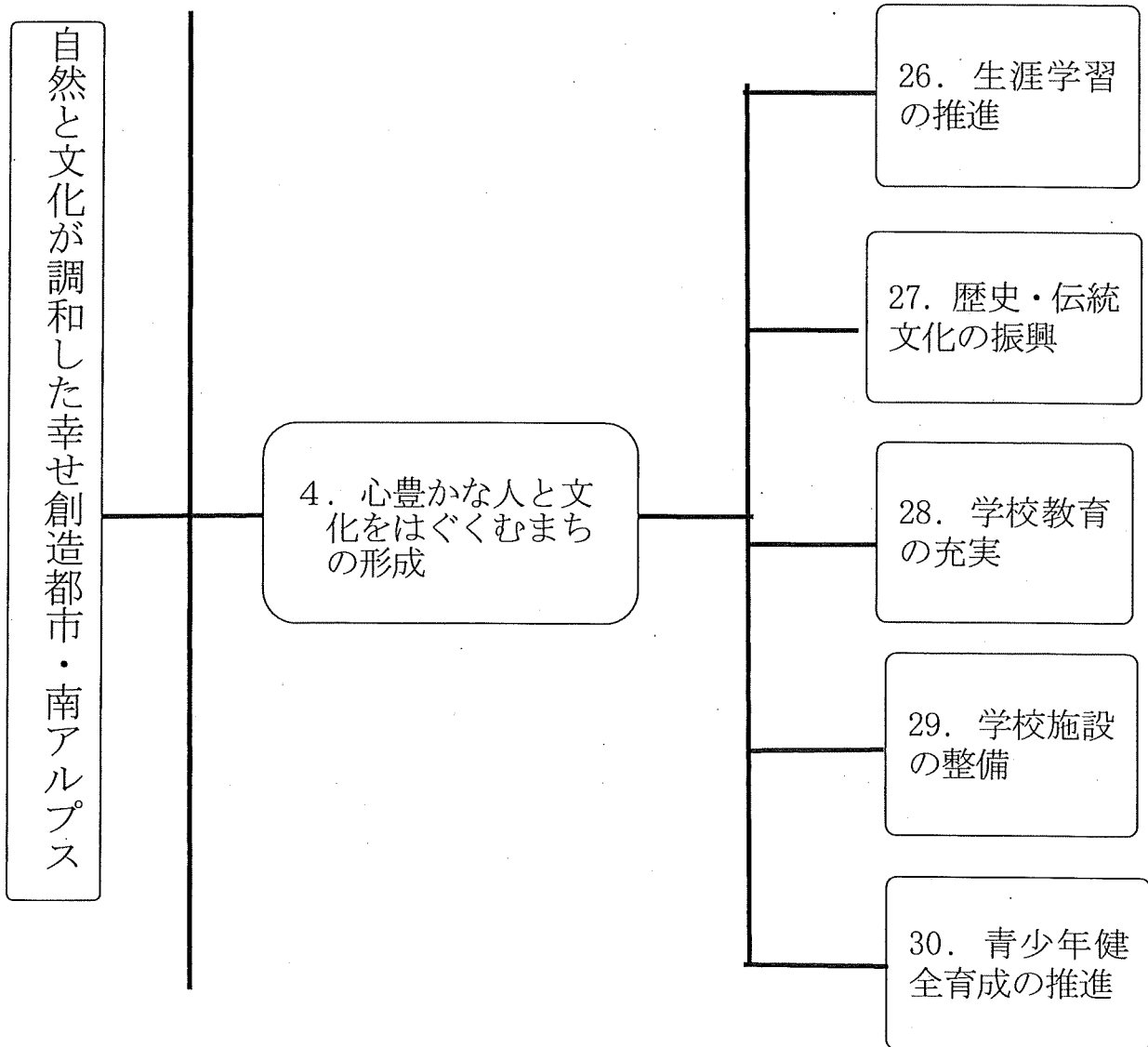
基本政策「心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成」の中に「生涯学習の推進」、「歴史・伝統文化の振興」、「学校教育の充実」、「学校施設の整備」、「青少年健全育成の推進」の5つの施策があります。

##### 2 第2次南アルプス市総合計画（後期基本計画） 体系（教育委員会関係抜粋）

〔将来像〕

〔基本政策〕

〔施策名〕



3 第2次南アルプス市教育振興プラン 体系（抜粋）

南アルプス市の教育が目指す姿であります「南アルプス市の未来を創る人づくり」の実現のために、取り組む柱となる3つの目標を定めました。

目 標	施 策	施策の柱
1 生きる力を育む学校教育の充実	1 主体的に学習に取り組む教育の育成	① 学習意欲の向上 ② 資質・能力の向上を目指した指導
	2 豊かな心を育成する教育の充実	① 道徳教育の充実 ② ふるさと教育の推進
	3 健やかな体の育成	① 子どもの体力の向上 ② 食育・健康教育の充実
	4 すべての子どもたちへの支援	① 特別支援教育の充実 ② 子どもたちに寄り添った指導体制 ③ 教職員の資質の向上 ④ 経済的支援の充実
	5 小中一貫教育の推進	① 一貫性のある教育課程の編成 ② 小中学校の教職員・家庭や地域の連携
	6 学校施設の計画的な整備	① 学校施設・設備の整備・危機管理体制の充実 ② 長寿命化計画に基づく計画的な整備
	7 ICTの活用と充実	① 一人一台端末の活用の充実 ② 校務支援システムの活用

目 標	施 策	施策の柱
2 郷土の歴史的・文化的資源の活用 と伝統文化の振興	1 歴史的・文化的資源の保全と活用	① 歴史的・文化的資源の掘り起こし ② 歴史的・文化的資源の保護・保全 ③ 歴史的・文化的資源の活用
	2 歴史的・文化的資源の情報発信	① 情報発信拠点の整備と活用 ② 文化財情報の発信
	3 ふるさと教育の推進	① 教育普及事業の推進 ② 人材の育成と支援
3 生涯にわたる学習の充実	1 生涯学習拠点の整備	① 芸術文化の拠点としての環境づくり ② 学びを支える情報拠点としての環境づくり ③ 読書活動の推進 ④ 持続可能な社会教育施設の運営
	2 生涯学習活動の推進	① 市民主体の生涯学習活動支援 ② 学びの成果を活かす環境づくり ③ 学びの継続を支える環境づくり
	3 生涯スポーツの環境整備	① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ② 人材の育成と団体支援 ③ スポーツ施設の整備・充実
	4 健全な青少年の育成	① 人間性豊かな子どもの成長を支える環境づくり ② 健全な青少年活動の推進 ③ 地域、家庭、学校が一体となった子どもを育む活動の推進

4 教育委員会事務局の事務事業に対する点検及び評価について

(1) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 26 生涯学習の推進 (43事業)

所属 : 生涯学習課/文化財課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標-施策番号
公民館運営管理事業	2	公民館活動としては、公民館長、主事が中心となり、新型コロナウイルス感染症対策を講ずる中で4館で事業を計画したが、3館が事業を中止、1館は事業を縮小実施した。地域住民の交流や文化の振興が図られた。	3-2
生涯学習推進事業	3	生涯学習施設の感染対策ガイドラインに基づき、人数制限した上で、学習機会や情報の提供を実施した。市民の自主的な学習活動の醸成を図るため「自主企画講座」の開催に注力した。開催数32回は、前年度比でおよそ2.0倍、受講人数は295人でおよそ1.65倍となった。	3-2
社会教育関係団体活動支援事業	2	地域の社会教育団体3団体に対し補助金を交付した。補助金交付決定時は14団体だったが、コロナ禍で事業を中止・縮小する団体があった。事業実施した団体から事業内容を見直した点などを聴き取り、その結果を他団体に紹介することができた。	3-2
八田高度農業情報センター運営管理事業	3	八田中央公民館機能を有している。指定管理者が新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで施設を快適に利用できるよう努めた。年間利用人数は14,611人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
若草生涯学習センター運営管理事業	3	若草中央公民館及び生涯学習センター機能を有している。指定管理者が、新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで施設利用の向上のため工夫した運営を実施した。年間利用人数は36,352人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
甲西農村環境改善センター運営管理事業	3	市直営施設として運営し、シルバー人材センターへ受付業務及び清掃業務を委託している。新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで市民が安心して利用できるよう適切かつ効率的な管理・運営に努めた。年間利用人数7,854人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
ふるさと天文館運営管理事業	3	ふるさと天文館運営協力会と協働し、口径50cmの望遠鏡を使って天体及び天文現象等の観測及び解説を実施した。新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。利用者数164人であった。	3-2

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
楡形北地区農村環境改善センター運営管理事業	3	市直営施設として運営し、シルバー人材センターへ受付業務及び清掃業務を委託している。新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで市民が安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。年間利用人数1,840人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
楡形西地区農村環境改善センター運営管理事業	3	市直営施設として運営し、シルバー人材センターへ受付業務及び清掃業務を委託している。新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで市民が安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。年間利用人数1,057人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
南アルプス市働く婦人の家運営管理事業	3	市直営施設として運営し、シルバー人材センターへ受付業務及び清掃業務を委託している。新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで市民が安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。年間利用人数3,583人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
生涯学習指定管理施設等維持補修事業	3	市民が安全・安心に施設を利用できるように、緊急性を考慮し、優先順位をつけて、7施設（17箇所）の修繕対応をした。また、突発的に発生した不具合についても、予算の範囲内で対応できない場合は、そのままにせず補正予算を確保し、修繕を実施した。	3-1
桃源文化会館運営管理事業	3	市民の生涯学習の場として、指定管理者が、新型コロナウイルス感染症対策を講ずることで安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。年間利用人数は66,944人であった。市民アンケートの結果では、市の文化施設の利用しやすさについて、肯定的回答が過半数を超えており、施設の利用環境は整備されているものとする。	3-1
桃源文化振興協会運営支援事業	3	専門的知識・技術を有する一般財団法人桃源文化振興協会職員の人件費を補助（運営支援）し、指定管理施設である桃源文化会館を芸術・文化の振興の拠点として、有効かつ効率的に管理・運営させた。	3-1
市文化協会活動支援事業	3	市文化協会の事務局は桃源文化振興協会が担っている。各地区の文化団体の活動に対し財政支援することで、芸術文化の普及、生涯学習の振興を図った。	3-1
スポーツ推進委員運営事業	3	スポーツ推進委員が行う教室・大会の参加者数は、令和3年度638人から令和4年度1,045人となった。平時と比べて参加者数は戻ってきている。新型コロナウイルス感染症対策を講ずる中で内容を精査し開催できた。	3-1

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
南アルプス市スポーツ協会支援事業	3	スポーツ協会主催事業数を成果の指標としている。コロナ禍において、広く参加を募るイベントは中止となったが、新型コロナウイルス感染症対策を講ずる中で各種教室、市駅伝大会等が実施された。	3-3
県外スポーツ大会出場支援事業	3	県代表として、県外大会へ出場する際の経費負担軽減のため、補助金を交付する事業で、令和3年度の7件から22件の申請に増加した。	3-3
南アルプス市ホームタウンゲームの活動支援事業	2	ヴァンフォーレ甲府サンクスデーは実施され、観戦者への特産品PRができた。しかし、山梨クイーンビーズ戦は会場がワクチン接種会場となっていたため中止となった。	3-3
桃源郷マラソン大会活動支援事業	1	市内外からおよそ7千人規模のマラソン大会として定着しているが、コロナ禍において令和2年度（18回大会）から大会が中止となり、3年連続中止となっている。	3-3
スキー・スノーボード教室開催事業	3	参加者数を成果の指標とし、初心者スキー・スノーボード教室を開催している。令和2年度から新型コロナウイルス感染症対策により事業は中止されていたが、令和4年度46名の参加があった。	3-3
ホッケー競技普及推進事業	3	令和4年度、新型コロナウイルス感染症対策を講ずる中で市内2大会を開催し114人の参加があった。白根地区2中学部活動への外部指導者派遣を行った。	3-3
社会体育施設指定管理事業	3	指定管理者に適正な管理運営を委託する事業で、社会体育施設等の利用者数は、令和元年度は525,899人、令和2年度は316,515人、令和3年度は397,052人、令和4年度は432,009人で年々利用者は増加している。	3-3
甲西市民総合グラウンド機能回復事業	3	平成28年度から継続的に取組んでいるリニア中央新幹線建設工事に伴う甲西市民総合グラウンドの移設事業について、契約を締結した事業所の建物解体が完了、移転し、物件移転補償代金を全額支払うことができた。さらに、管理棟他改築工事設計業務等を完了した。	3-3
白根B&G海洋センター改修事業	3	平成25年以降に非構造部材の耐震性に関する法律が改正されたことを受けて、施設を安全・安心に利用できるようにすることや、災害時の避難所としての機能確保を図るために工事を完了した。	3-3
若草地区拠点施設周辺整備事業	4	若草保育所の移転新築に併せ、減少する駐車スペースを確保するための再整備を計画し、児童・生徒を含め利用者の安全確保を図りながら、既存の駐車台数よりも多くの駐車スペースを確保し、整備工事を完了した。	3-3
鏡中條体育館改修事業	3	平成25年以降に非構造部材の耐震性に関する法律が改正されたことを受けて、施設を安全・安心に利用できるようにすることや、災害時の避難所としての機能確保を図るために設計、工事を完了した。	3-3
芦安調理場運営管理事業	1	芦安高齢者コミュニティセンター解体に伴い、その調理室機能を移転し、平成30年11月から供用開始した。市民が安心して利用できるよう適切な管理・運営に努めた。利用予約はあったが、新型コロナウイルス感染症対策により全てキャンセルとなった。	3-3

所属 : 市立図書館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
市立図書館運営事業	3	市立図書館の円滑な運営を行い、読書活動や学習活動を高めるため館内掲示や特集コーナーの充実を図った。資料貸出総数は年間381,965冊で、空調設備更新工事による臨時休館（中央図書館R4.10.1～11.10）があったが、前年度比105%となった。 ふるさと人物室では、南アルプス市にゆかりのある人物（ウォルター・ウェストン氏・矢崎源九郎氏）の展示や講演会を行った。また、伝記『東京タワーをつくった男 内藤多仲』を発行し、ふるさと教育の推進を図った。	3-1
市立図書館資料提供事業	3	市内各図書館では、新聞43紙（延べ）・雑誌362誌（延べ）を市民に提供した。雑誌の貸出数は22,556冊で空調設備更新工事による臨時休館（中央図書館R4.10.1～11.10）があったが、前年度比104%となった。	3-1
市立図書館子どもの読書活動推進事業	3	開催方法を工夫して「事前申込制おはなし会」、夏休み行事・ビブリオバトル等を行い、子どもたちが継続して本に親しめる環境を整備した。また、学校と連携し児童生徒が作成したおすすめの本のポップを市立図書館で展示し読書推進を図った。子ども向け事業の参加者数は4,973人で前年度比116%となった。	3-1
図書館協議会運営事務	3	年3回、図書館協議会を開催し、市民の図書館に対する要望や意見を市立図書館の運営に反映させた。また、電子図書館サービスについて協議し今後の方針を定めた。	3-1
図書館システム管理事業	3	定期的にシステム会議を実施し、図書館システムの安全な管理と運営を図り、迅速かつ円滑な図書館サービスを利用者に提供した。	3-1
図書館生涯学習推進事業	3	開催方法を工夫して「図書館おはなしクラシック&名曲コンサート」「朗読会」「シニア講座」等を行い、多様な学習機会を提供した。一般向け事業の参加者数は4,423人で前年度比131%となった。	3-1
ブックスタート事業	3	「ブックスタート事業」では、市内で生まれた全ての赤ちゃんと保護者518人に絵本等を、「セカンドブック事業」では、市内の小学校1年生586人に本を贈った。また、読書離れの進む小学校4・5・6年生と中学生を対象におすすめの本を紹介する「サードブック事業」を行い、子どもの発達段階に応じた読書を支援した。	3-1
図書館資料購入事業	3	暮らしに役立つ資料及び地域資料等を市民に提供するため、選書会議を週1回行い、購入資料を検討した。資料貸出総数は年間381,965冊で、空調設備更新工事による臨時休館（中央図書館R4.10.1～11.10）があったが、前年度比105%となった。	3-1



所属 : 市立図書館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
図書館事務研修事業	3	学校図書館との合同研修会を実施し、図書館運営に反映した。また、施設の安全管理の徹底を図るため、救命講習・消火訓練を行った。図書館の動向や資料情報を得るために研修会に参加した。	3-1
楡形生涯学習センター 管理事業	4	老朽化した館内の空調設備及びホール照明の調光操作卓の更新工事を行い、市民が安全に安心して学習活動に取り組める環境を整備した。新型コロナウイルスの感染状況に応じた対策を取りながら、映画会、コンサートなどの自主企画事業を実施し、市民が文化芸術に触れる機会を創出した。特に映画会については申込み手段に二次元コードを導入し、毎月コンスタントに開催することによって、参加者の着実な増加につながった。施設全体の年間利用者数は10,891人で前年度比153%であった。	3-1
図書館司書会計年度任用職員配置事業	3	市立図書館（5館1分館）の円滑な運営を図るために、図書館司書会計年度任用職員を配置し、効果的な図書館運営を行った。	3-1
白根生涯学習センター 運営管理事業	3	令和2年度以降、新型コロナウイルス対策のため利用制限を実施していたが、利用者数は増加傾向にあり、令和4年度の年間利用者数は21,737人で前年度比150%であった。二酸化炭素の削減と図書館利用者に対し、より静かで快適な環境を提供することを目的に導入した地中熱ヒートポンプが会計検査院検査の対象となった。前回の検査以降、順調に削減目標を達成しており、施設運営に効果的に作用していることが確認された。	3-1

所属 : 市立美術館

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
美術館企画展事業	3	企画展として「マルク・シャガール」展を開催し、8,218人の入館者があった。今後も質の高い魅力ある展覧会を開催し、市民の文化意識を高めるとともに、入館者の増加促進を図っていく。	3-1
美術館常設展事業	3	常設展として「秋山令一」展、「新収蔵 萩原英雄」展、「名取春仙一関東大震災絵巻と肉筆画」展、「古事記繪はなしー日本乃神様」展、「新収蔵 横田正文コレクション」展、を開催し、3,948人の入館者があった。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら各展示室の人数制限などにも努め、収蔵作品の中から新しい視点で工夫を凝らした展覧会を開催するなど、感染症対策で制限がある中でも親しみがあり、芸術文化の楽しみを発見できる事業を展開した。	3-1
教育普及事業	3	新型コロナウイルス感染症対策のため、ワークショップや体験講座などは、参加人数を制限して開催した。また、学校に向く「出張美術館」を積極的に実施し、学校の美術活動を支援した。企画展開催時のワークショップをはじめ、多様なニーズに応じた教育普及活動を実施できた。年間延べ420日の開催で2,501人の参加者があった。今後も引き続き博学連携の強化を図り、教育普及事業を推進していく。	3-1
旧白根桃源美術館維持 管理事業	3	国の登録有形文化財である旧飯野産業組合倉庫（旧白根桃源美術館本館）の維持管理が適切に図られた。	3-1

(2) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 27 歴史・伝統文化の振興 (14事業)

所属 : 文化財課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
文化財保護活用事業	3	「徳島堰」が新たに国の登録有形文化財となっている。その他の文化財についても、国、県と連携して適切に対応することができた。	2-1
文化財教育普及事業	3	実施した講座等の回数は195回、延べ参加人数は8,225人であった。それぞれ前年度比121%、124%と増加しており、コロナ禍の影響からの回復が進んでいる。	2-3
宝珠寺のマツ松くい虫防除支援事業	3	同木が樹勢を保った年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う松くい虫防除事業の補助を行った。合併後19年間木の状態は良好に保たれている。	2-1
鏡中條のゴヨウマツ松くい虫防除支援事業	3	同木が樹勢を保った年数を成果の指標とし、文化財所有者の行う松くい虫防除事業の補助を行った。合併後19年間木の状態は良好に保たれている。	2-1
長谷寺の防災施設保守点検支援事業	3	建造物が良好に維持された年数を成果の指標とし、文化財防災施設保守点検事業の補助を行った。合併後19年間建造物の状態は良好に保たれている。	2-1
文化財教育普及看板設置事業	3	落合の成妙寺が管理している市指定文化財2件(1基)を更新した。	2-2
埋蔵文化財調査受託事業	3	10月から市の新産業拠点整備に伴う、発掘調査を実施している(令和5年7月末まで)。また、県ほ場整備事業に伴う整理作業1件、県道整備事業に伴う整理作業1件を受託し、適切に記録保存措置が図られた。	2-1
市内試掘確認調査事業	3	市内の遺跡の保護を図った数を成果の指標とし、達成率は100%。試掘調査の実施件数は26件であった。	2-1
国指定史跡「御勅使川旧堤防」整備事業	3	史跡のうち、樹形堤防について整備工事を行った。工事については、令和5年度まで継続予定。	2-1
ふるさと文化伝承館運営事業	3	本年度の入館者数は7,446人で、前年度比136%と増加し、コロナ禍の影響からの回復が進んでいる。その中でテーマ展「にしごおり果物のキセキ」、「ナニコレ!昔の道具」展を開催した。	2-2

所属 : 文化財課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
安藤家住宅運営管理事業	3	入館者数は4,214人で前年度比131%と増加し、コロナ禍の影響からの回復が進んでいる。また老朽化した茅葺屋根の緊急修繕も行った。	2-2
安藤家住宅イベント開催事業	3	3年ぶりに秋祭り宵の部（コンサート）を行うことができた。また、「ミニ門松づくり」、「むかし遊びとお話会」、「紅葉ライトアップ」などを開催し、催事についても平年どおりの開催に近づきつつある。	2-2
重要文化財安藤家住宅トイレ整備事業	3	来館者用トイレの新設に向けて、設計業務委託を行った。令和5年度に建設工事を実施予定。	2-2
ふるさと〇〇博物館推進事業	3	コロナ禍の影響はあったが、新たな証言や資料の収集などを継続して行った。「デジタルアーカイブ」への地域資源の登録件数も順調に増え、令和4年度末時点で前年度比112%の890件を数え、年度中のアクセス件数は、30万件を超えた。	2-2

(3) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 28 学校教育の充実 (46事業)

所属 : 教育総務課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標-施策番号
教育長交際活動費	3	教育行政執行のための外部との交際上必要な経費。内部基準に照らし執行している。	-
教育委員活動事業	3	定例教育委員会の開催。コロナ禍のため、視察時間を短縮する中で22校の学校訪問を実施。研修はオンラインによる研修は出来る限り参加した。	-
教育委員会事務局管理事務	3	公用車、コピー機等の管理、電気の使用、コピー用紙のリサイクルなど、無駄のない予算管理に努めた。	-
巨摩高校定時制教育振興会参画事業	3	本市のほか、富士川町、中央市で組織する教育振興会が、生徒が行う部活動や校外活動に対して支援を行うため、負担金を支出した。	-
小林愛則育英奨学会支援事業	3	将来、社会の中核となる人材を育成する目的として、高校3年間奨学金を給付している。令和4年度は新規・継続を含めた7名に対して、奨学金の給付を行った。	1-4
芦安活性化対策育英奨学金貸付事業	3	芦安地区の過疎対策事業として育英奨学金貸付事業を行っている。令和4年度は2名に奨学金の貸与を行った。	1-4
南アルプス市奨学金貸与事業	3	募集した結果、申込み者はいなかった。令和4年度は、大学生5名に奨学金の貸与を行った。現在貸付している事務について、返済方法の相談を受けながら柔軟に対応した。	1-4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標-施策番号
教育支援センター運営管理事業	3	学校へ登校することが困難な児童生徒への学習支援・教育相談を行っている。保護者や学校と連携をする中で、学校復帰・高校進学を目指して取り組んだ。また、教育相談員と臨床心理士による入所生徒や保護者へのカウンセリングを通して、児童生徒への支援を丁寧に行った。令和4年度の在籍者は15人。	1-4
市単講師派遣事業	3	目標どおり36人の市単講師等を配置し、支援を必要としている児童生徒に対して、きめ細かな指導をすることができた。支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、継続した講師の確保が課題。	1-1
司書臨時職員配置事業	3	目標どおり13人の市単司書を配置できた。今後も現状を維持し、学校図書館の有効活用を支援する。	1-4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
用務員臨時職員配置事業	3	児童生徒が快適に学校生活を送ることができるよう、目標どおり市単用務員を配置することができた。	1-4
学校図書館蔵書管理事業	3	学校図書館の蔵書と、その貸出等をシステムで管理するとともに、学校・公立図書館の間で情報共有を行うことができた。	1-4
学事管理事務	3	学齢簿の管理や転校等の就学事務を円滑に実施できた。さらに、学校予算のうち学事管理事務で一括計上できるものは、予算の集約・削減に努めた。	1-4
学びの質を高める授業づくり推進事業	3	指定校（2年次：落合小・白根巨摩中 1年次：白根飯野小）を定め、児童生徒が互いの意見や考え方を聴き合い、学び合う授業づくりを目指し研究を深めた。また、授業公開によって、研究内容を市内の小中学校に示した。年度末には教育委員会が主催し、市内22校の教職員を対象とした成果報告会と、講師を招いて教育講演会をオンラインにて実施した。	1-1
南アルプス自然体験推進事業	3	ユネスコエコスクールである芦安小中学校を対象に、南アルプス市の身近な自然を生かした体験学習を通して、児童生徒に本市の自然や伝統文化について学ばせる機会としている。令和4年度は、コロナウイルス感染症対策を行いながら、中学校の自然パトロールや「鳳凰三山」への登山、小学校は櫛形山登山や森林学習を実施した。	1-2
いじめ・不登校未然防止推進事業	3	小学校5年、中学校1年でQ-U検査を実施し、学級、学年の集団分析を行い、いじめや不登校の未然防止、早期解消に向け、その活用を図った。また、教育講演会を実施して困難を抱える児童生徒やその保護者の理解、学校としての支援のあり方等について研修を深めた。いじめについては、解消率が98%を超えた。不登校については、全国的にも上昇する中、本市においても微増している。	1-4
スクールガードリーダー事業	3	児童生徒が安全に安心して登下校できるように、通学路の巡回や学校周辺のパトロールを実施した。また、研修会等を実施した。	1-4
教育推進管理事務	3	指導主事等の研修会が実施され、研修内容等を市内22校に還流しながら、必要な指導・助言を行った。また、国や県からの指導、教育雑誌から得られた最新情報、研究結果等を具体化し、学校訪問や研究会で提示した。	1-4
南アルプス市学校応援団育成事業	3	各中学校区のコーディネーターを中心に、地域ボランティアを募り、「見守り隊」を含め約600人程の登録をいただいた。読み聞かせや農業体験をはじめとした体験活動や環境整備等、学校の要望に対応した講師を派遣することができた。大学生の学生サポーターは10人に留まったが、児童・生徒のための支援を行うことができた。	1-4

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標・施策番号
学校災害補償保険事業	3	学校施設の瑕疵等、財物の滅失等の損害、学校管理下における児童生徒等の事故等の災害に対する保険に加入した。	1-6
小中学校清掃委託事業	3	入札により選定した業者により小中学校22校の校舎、体育館等の清掃を行い、快適な学校環境の維持向上に努めた。	1-6
若草南小学校情緒障害 通級指導教室	3	市内の小学校の普通学級に在籍する支援を必要とする児童を対象に、自立活動を行っている。令和4年度は市内11校から42人の児童が通級した。北部地区での開設希望により、白根百田小でサテライト指導を実施した。	1-4
小中学校における小笠 原流礼法推進事業	3	小笠原流礼法宗家本部と関わりながら、礼法指導を行う2人の師範を市内小中学校22校に派遣した。各クラス2回ずつ授業を行い、小中学校9年間を通し、心を育てる指導をした。教職員対象に卒業証書授与伝達講習会等を実施し、指導にあたる教職員の理解度も高めてきた。	1-2
学校消火器管理事業	3	学校に設置されている、製造から10年が経過した法令上期限切れの消火器を入替えた。	1-6
外国語指導講師配置管 理事業	3	1人のアドバイザーと10人のALTを配置し、小・中学校において英語でのコミュニケーション指導を行った。通常の授業の他、教職員の英語力・指導力アップのための研修も行った。	1-1
小学校地域ふれあい道 徳教育推進事業	3	児童の「豊かな心を育成する教育の充実」を図るため、地域の人々とのふれあいを中心とした道徳教育を行うための事業。公開授業や講演会はコロナ禍のため参加者や参加方法を工夫した中で、全小学校で実施された。	1-2
小学校要保護就学援助 及び特別支援教育就学 奨励費事業（補助）	3	特別支援学級に在籍する児童111人の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を支給できた。	1-4
小学校準要保護就学援 助事業（単独）	3	準要保護世帯の児童272人の保護者に対し、就学援助費を支給できた。さらに、新入学用品費の入学前支給も、31人に支給できた。	1-4
中学校部活動コンクー ル・コンテスト参画事 業	3	中学校の合唱部や吹奏楽部等が各種大会に参加するための負担金の支出を行った。	1-1

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
中学校ヘルメット購入支援事業	3	市内の自転車通学生徒179人に対し、ヘルメット購入代金の半額を補助した。	1-4
中学校地域ふれあい道徳教育推進事業	3	生徒の「豊かな心を育成する教育の充実」を図るため、地域の人々とのふれあいを中心とした道徳教育を行うための事業。公開授業や講演会はコロナ禍のため参加者や参加方法を工夫した中で、全中学校で実施された。	1-2
中学校関東大会・全国大会出場支援事業	3	学校教育活動の一環として、県外で行われる関東・全国大会に出場する経費の一部を補助した。	1-3
中学校要保護就学援助及び特別支援教育就学奨励費事業（補助）	3	要保護世帯の生徒2人の保護者に対し、修学旅行費の一部を、特別支援学級に在籍する生徒42人の保護者に対しては、特別支援教育就学奨励費を支給し、援助することができた。	1-4
中学校準要保護就学援助事業（単独）	3	準要保護世帯の生徒195人の保護者に対し、就学援助費を支給できた。さらに、新入学用品費の入学前支給も、49人に支給できた。	1-4
教育相談事業	3	多様化する児童・生徒の諸問題に対し、臨床心理士と教育相談員を配置し、児童・生徒及び保護者等の相談を行った。今後も、低年齢のうちから継続的な相談を行える体制の強化をしていく必要がある。	1-4
部活動指導員任用事業	3	白根巨摩中（テニス部）、白根御勅使中（ホッケー部）芦安中（バドミントン部）の部活動において、外部指導員を雇用し、部活指導教員の支援及び生徒の技術等の向上を図ることができた。	1-3
小中一貫教育研究推進事業	3	橿形・若草・白根巨摩中学校区では、令和3年度に引き続き、甲西・白根御勅使中学校区では、令和4年度から小中一貫教育推進協議会を開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、議論が足踏み状態となっていたが、それぞれの地域の特徴を生かせるような取り組みを進めた。	1-5
第三次小中学校教育系ネットワーク整備事業	3	文科省のGIGAスクール構想に沿って、各小中学校に整備した無線LAN環境や児童生徒一人一台の端末を正常に使用できるようにするための保守管理を行った。	1-7

所属 : 学校教育課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
楡形中学校情緒障害通級指導教室運営事業	3	市内の中学校の普通学級に在籍している支援を必要とする生徒を対象に、楡形中学校にサポートルームを開設した。35人の生徒が在籍し、生活上、学習上の困難の改善、解消のための自立活動を行った。また、八田中学校・白根巨摩中学校・若草中学校・甲西中学校の巡回指導を行った。	1-4
教育支援体制整備事業	3	新型コロナウイルス感染症対策や子どもの学びの補償をサポートし、学校教育活動を支援する学力向上支援員を配置した。	1-4
学校運営協議会事業	3	八田地区・芦安地区で学校運営協議会を立ち上げ、地域と学校との連携に向けて取り組みを進めた。	1-5

所属 : 市立学校給食センター

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標 - 施策番号
学校給食費徴収事業	3	令和4年度の給食費の収納率は99.80%。2学期から給食費の3割負担軽減を、11月からは児童生徒の給食費無償化を実施した。そのため11月以降は現年度未納分や過年度分の徴収と教職員のみの徴収を行った。	1-3
学校給食費支援事業	3	市内に住所を有し、同一世帯において小・中学校に3人以上の子どもが通っている保護者を対象に、当該年度の給食費の一部を助成する事業。広報で広く呼びかけ、学校との連絡を密にして申請漏れの無いように努めた。(申請者:141人、支給者:134人)	1-3
北部学校給食センター給食事業(学校給食)	3	給食の提供は、衛生管理に細心の注意を払いながら、時間内に安全・安心な給食を届けることができた。食育指導では、今年度からICTを活用した食育も進めた。アレルギー食の対応(小中学校31名、保育所14名)は通常通り行った。学校給食も全国的な食材費高騰の影響を受けたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、給食費の10%分を賄材料費の予算として上乗せできたため、質・量を落とすことなく給食を提供することができた。	1-3
南部学校給食センター運営事業	3	給食の提供は、衛生管理に細心の注意を払いながら、時間内に安全・安心な給食を届けることができた。食育指導では、今年度からICTを活用した食育も進めた。アレルギー食の対応(53名)は通常通り行った。学校給食も全国的な食材費高騰の影響を受けたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用により、給食費の10%分を賄材料費の予算として上乗せできたため、質・量を落とすことなく給食を提供することができた。	1-3
北部学校給食センター除害施設改修事業	3	施設隣接道路の公共下水道配管に伴う下水道接続のため、除害施設の改修を令和5年度に計画している。その改修のための設計業務を入札を経て委託契約し、設計業務は完了した。	1-3



(4) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 29 学校施設の整備 (4事業)

所属 : 教育総務課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標・施策番号
小学校施設設備整備事業(単独)	3	学校からの修繕要望に対し、設計、調査等を18件と南湖小学校プールサイド改修工事ほか85件の修繕工事を実施した。	1-6
中学校施設設備整備事業(単独)	3	学校からの修繕要望に対し、設計、調査等を13件と楡形中学校暖房設備器具更新工事ほか41件の修繕工事を実施した。	1-6
若草小学校改築事業	3	若草小学校改築に伴い、設計業務委託及び仮設校舎リースの契約を締結した。	1-6
若草中学校部室等改修事業	3	老朽化した部室棟・相談室・倉庫の改築及び駐輪場移設、テニスコート改修工事を実施した。	1-6

(5) 基本政策 : 4 心豊かな人と文化をはぐくむまちの形成

施策名 : 30 青少年健全育成の推進 (11事業)

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標・施策番号
青少年国内交流・交流支援事業(津別町)	1	令和4年度は、小学生とジュニアリーダーが参加し津別町訪問団を受け入れる予定だった。 コロナ禍における実施の可否を十分に協議した結果、中止とした。	3-4
青少年国内交流・交流支援事業(小笠原村)	1	令和4年度は、中学生20人で訪問予定だった。 コロナ禍における実施の可否を十分に協議した結果、中止とした。	3-4
青少年国内交流・交流支援事業(穴水町)	1	令和4年度は、小学生20人で訪問予定だった。 コロナ禍における実施の可否を十分に協議した結果、中止とした。	3-4
青少年育成コーディネーター設置事業	3	青少年の健全育成活動を推進する市民会議の事務局業務を担う。 子どもクラブ・育成会・青少年育成推進員・自治会・学校・PTA等と連携を図り、地域性を生かした活動を図るため、関係機関との連絡・調整を担いコロナ禍でできる事業を円滑に推進した。	3-4
青少年育成推進会議運営事業	3	110人(定員112人以内)の推進員が、市民会議専門委員会に所属し、青少年活動や地域イベントなど広く活動を展開している。 夏休み・冬休みにチラシを配布、年度末に広報誌を発行し、コロナ禍における「新しい生活様式」での過ごし方や取組みについて啓発活動を行った。	3-1
ジュニアリーダー養成事業	2	中高校生を対象に、地域や学校でリーダーとして活躍を目指す子どもを育成することを目的とする。年間10回の活動(屋外を含む)を計画したが、コロナ禍において、年間6回の活動となった。	3-4
二十歳に集う会(仮称)事業	4	二十歳対象者の門出を祝い自立を促す事業とし、毎年1月に開催。 ジュニアリーダー経験者、元生徒会役員などで構成する実行委員会を立ち上げ、万全な新型コロナウイルス感染症対策を実施し、対象者による企画運営で式典を挙行了。また、来場できない対象者・保護者のため、YouTube動画配信を行った。(二十歳対象者828人中624人、参加率75.4%) (前年度 二十歳対象者853人中663人、参加率77.7%)	3-4
市子どもクラブ指導者連絡協議会支援事業	3	子どもクラブ毎に子どもの育成事業を実施している(76団体)。 子どもクラブ活動の活性化を図るため、指導者の活動に対し支援をする。 7月「ラジオ体操講習会」、10月「青少年のためのインターネット講習会」を開催した。	3-4
南アルプス警察署管内少年補導員支援事業	3	少年の非行防止活動の推進及び各種防犯団体の活動支援や、関係団体との連携を図る活動を目的とした協議会への補助金を交付。	3-4

所属 : 生涯学習課

事務事業名	評点	評価の視点	教育振興プラン 目標・施策番号
キッズタウン南アルプス支援事業	3	<p>地域人材を生かした職業体験事業として、実施主体である商工会青年部に補助金を交付する。 平成29年度参加者は小学生134人、平成30年度は203人、令和元年度は213人あり、令和2～3年度は新型コロナウイルス感染防止で中止となったが、令和4年度は再開され、215人の参加者があった。 地元の人の仕事を体感し、憧れや興味を抱き、伝統や仕事の大切さを学ぶ貴重な機会となっている。</p>	3-4
青少年育成南アルプス市民会議支援事業	3	<p>広く市民が青少年問題の重要性に着目し、健全育成を図ることを目的に様々な活動を活発に展開している。 事業の見直しを図り、登下校時の見守り活動を活発にするため、全支部で関係団体に「みまもりたすき」を配布した。 各支部に青少年育成コーディネーターを配置し、専門的な立場で指導・助言を図り、補助金を交付し支援を行っている。</p>	3-4